

2 0 2 0 年 度

事業計画書及び収支予算書

2 0 2 0 年 5 月 2 1 日

一 般 日本フルードパワー工業会
社団法人

目 次

2020年度事業計画書及び収支予算書

I. はじめに	1
II. 2020年度の事業計画の概要	2
1. 需要対策事業	2
2. 国際交流事業	2
3. 標準化事業	3
4. 技術調査事業	4
5. 広報・PR事業	5
6. 中小企業関連事業	6
7. 振興対策・PL・その他事業	6
III. 会員状況	8
IV. 2020年度収支予算書	9

2020年度事業計画

I. はじめに

昨年の経済情勢を振り返りますと、一昨年から実施された米国トランプ政権による対中追加関税の対象品目が更に広がった影響もあり、中国経済は、一昨年末以降内需の弱さが見えてきている中、中国政府の景気下支え策により実質 GDP は 6%前後を維持していますが、元安や過剰債務問題などの不安要素は依然として消えておりません。一方、米国経済は、失業率が3%台までに低下するなど堅調な雇用環境に支えられ、やや減速しながらも成長が続きました。このような世界経済状況の中、日本経済は、台風による甚大な被害、消費税率のアップなどもありましたが7~9月期の実質 GDP は、4 四半期連続でプラスとなりました。

今年度は、11月3日の大統領選を控え、選挙モードが本格化する中、米中貿易戦争が一段落して、世界経済が好転に向かうことが期待されます。日本においては、東京オリンピック・パラリンピックが開催される中、半導体製造装置などの5G関連設備の立ち上がりや大阪万博を見据えた都市再開発関連投資、人手不足に対応した省力化投資、成長分野への研究開発投資などを中心に、国内需要は緩やかな増加を続けると予想されます。

このような経済環境を背景に、当会は、今後とも団体としての自主独立運営、収支の健全化を図りながら、会員各位の要望に従来以上に多く応え、「会員のための工業会」として、公益への寄与を図る事業を引き続き推進するものとします。

以上の基本認識に立って、今年度は

- ① 「会員のための工業会」として、最新の国際情勢、技術動向等会員の求める情報の収集・発信をHPや講演会などを通じて行うこと
- ② フルードパワーの技術基盤をより充実させていくために、産学連携した積極的な標準化活動、若手技術者の育成や部会活動範囲の拡大などを検討し実施していくこと
- ③ より広くより深くフルードパワーの業界・企業を広報するために、IFPEX2021の成功に向けて企画等を行うこと

を柱に、委員会や部会・分科会活動を中心に事業を立案し実施します。

II. 2020年度の事業計画の概要

1. 需要対策事業

フルードパワー産業の市場動向を把握するため、建設機械業界や半導体製造装置業界等ユーザ業界の設備投資、自動化・省力化投資動向等についてマイクロ・マクロ両面から調査・分析し成果を公表する。また、フルードパワーの受注・生産・出荷動向等の定期配信の迅速化に努める。そのため、以下の事業を実施する。

- ① 総需要委員会において、2020年・年度及び2023年・年度の油空圧機器の需要見通しを作成するとともに、必要に応じて2020年・年度の見直し作業を行い関係者に資料配布する。
- ② フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出等市場動向に関する調査を実施し、関係者に配布する。
- ③ 需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に配布するとともに、必要に応じ関連団体の関係者を招いて意見交換する。
- ④ その他需要対策に必要な事業を実施する。

2. 国際交流事業

米国中国間の追加関税等に始まる貿易戦争による世界市場への動向、先の見えない英国のEU離脱問題や中東での紛争によるエネルギー問題など、それぞれの国・地域動向の把握と分析がより重要となっている。これら諸課題に対応するため、「国際委員会」活動を中心として以下の事業を実施する。

- ① 海外のフルードパワー産業に関する情報を収集するため、国際会議等に積極的に参加するとともに、視察団の派遣及び海外見本市への共同出展の検討を行い必要に応じて実施する。
 - イ) 2021年4月のハノーバーメッセ開催に併せ欧州視察団を派遣するべく、企画し募集する。
 - ロ) 中国、米国、欧州等海外動向に関する情報収集と分析を行い、必要に応じ講演会の開催を検討する。
 - ハ) 国際サミット・国際統計委員会に参加し、その結果を会員に提供する。
- ② Fluid Power Industry in Japan 2020年版(隔年)を発刊する。
- ③ 新興諸国の市場動向等について情報収集や海外市場に係わる統計データ類を整備するとともに各国の関連団体との交流を推進する。
- ④ 会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理や公正貿易ルール等について、経済産業省、JETRO等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提

供する。また、必要に応じ講演会を開催する。

- ⑤ その他、国際交流に必要な事業を実施する。

3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISO や JIS、団体規格の新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。また、(株)野村総合研究所：NRI からの受託事業である省エネ型水圧システムに関する国際標準化推進事業を引き続き実施するとともに、次年度以降の後継事業について検討し、これを経済産業省に要求していく。

1) ISO 対策事業

- ① ISO 規格について検討し、必要に応じ制定・改正若しくは廃止するとともに、我が国提案の ISO 規格化の推進を図る。
- イ) ISO 中央事務局から配信される各規格開発の審議案件に関して、該当する国内対策分科会にて審議を行い、日本意見として答申する。(JKA 補助事業)
 - ロ) ISO 20145/AMD (サイレンサの排気騒音レベルの測定方法) の規格原案作成における日本案盛り込みを推進する。(JKA 補助事業)
 - ハ) 空気圧システムのエネルギー評価に関する新規規格制定における日本案盛り込みを推進する。(JKA 補助事業)
- ニ) 省エネ型水圧システムに関する国際標準化推進事業を推進する。(NRI 受託事業 3年計画の3年目)
- ② ISO 国際会議へ積極的に参加をする。
- イ) ISO/TC131 関連の国際会議への委員派遣 (2020.5 : 韓国・ソウル, 2020.10 : フランス・パリ) (JKA 補助事業)
 - ロ) ISO/TC118/SC3 及び SC4 の国際会議への委員派遣。(JKA 補助事業)
 - ハ) ISO/TC131/SC8/WG14 の国際会議への委員派遣 (2020.5 : 韓国・ソウル, 2020.10 : フランス・パリ) (NRI 受託事業)
- ③ ISO/TC131/SC7 (密封装置) の幹事国業務 (委員会メンバー各国との連絡・会議運営・規格開発の進捗管理等) を遂行する。(MRI 補助事業)
- ④ ISO/TC131/SC8/WG14 (水圧ポンプの試験方法) の幹事国業務 (委員会メンバー各国との連絡・会議運営・上位 SC との連携等) を遂行する。(NRI 受託事業)
- ⑤ 2021年5月に予定されている ISO/TC131 国際会議の日本開催に関して、準備を進める。

2) 規格事業

日本産業規格 (JIS)、日本フルードパワー工業会規格 (JFPS) について審議し、必要に応じ制定・改正、若しくは廃止する。

① 日本産業規格 (JIS)

(新規) 8 件

- イ) JIS B8356-2 油圧用フィルタ性能評価方法—第 2 部: フィルタエレメントの組立完全性試験及びファーストバブルポイントの測定 (2020.4 開始予定)
- ロ) 「ISO 1219-3:2016, Fluid power systems and components -- Graphical symbols and circuit diagrams -- Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams」の JIS 化 (2020.8 開始予定)
- ハ) JIS B8381-1 空気圧用継手—第 1 部: 熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手 (2020.8 開始予定)
- ニ) JIS B8381-2 空気圧用継手—第 2 部: 熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手 (2020.8 開始予定)
- ホ) JIS B8672-1 空気圧—試験による機器の信頼性評価—第 1 部: 通則 (2020.12 開始予定)
- ヘ) JIS B8672-2 空気圧—試験による機器の信頼性評価—第 2 部: 方向制御弁 (2020.12 開始予定)
- ト) JIS B8672-3 空気圧—試験による機器の信頼性評価—第 3 部: 減圧弁 (2020.12 開始予定)
- チ) JIS B8392-3 空気圧—圧縮空気—第 2 部: オイルミストの試験方法 (2020.12 開始予定)

② 日本フルードパワー工業会規格 (JFPS)

(継続) 2 件

- イ) JFPS 1003 油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針 (改正)
- ロ) JFPS 2027 空気圧機器の制御に関する用語 (制定)

4. 技術調査事業

フルードパワー産業及び関連産業技術の高度化・合理化・省エネ化等に資するために、フルードパワーシステム学会とも連携し、新技術情報や新製品情報を収集し提供を行う。そのために、油圧部会、空気圧部会並びに水圧部会で以下の事業を実施する。また、昨年技術企画委員会にて議論された IoT 化、電動化、ハイブリッド化等への課題等について、部会とは別に専門の委員を集めた研究会等の実施を検討する。

1) 油圧部会及び空気圧部会

- ① 実用油圧ポケットブック及び実用空気圧ポケットブックの改訂作業を完了し、2020 年内に発行する。
- ② ユーザ業界の最新の技術動向、及び関連産業界全体の IoT、AI、スマート化、ディープラーニング、設備予知保全等のトレンドを把握するための技術講演会を年 2 回実施すると共に、機関誌の記事として掲載し広く会員企業に伝える。
- ③ 若手技術者のスキルアップとコミュニケーション能力の向上のため、若手技術者懇談会（油圧部門、空気圧部門）を継続して開催する。懇談会は、年間 2 回（①講演会、②工場見学会）として各部門単独または合同で実施し、それぞれ聴講、見学後にグループ討議と発表の場を設け、一層の活性化を図る。
- ④ RoHS2 規制、REACH 規制による六価クロム、鉛フリーはんだ等のグリーン調達、及びこれらの規制と CE マークとの関連、さらに HACCP の義務化対応等、フルードパワーに関する安全規格に関する情報収集と提供を迅速に行う。
- ⑤ 中央職業能力開発協会からの要請に応じて、油空圧機器部門の中央技能検定委員（特級・1 級・2 級）の推薦、及び必要に応じて会員企業への情報提供を行う。
- ⑥ その他、油空圧技術に関する諸問題に対応する。

2) 水圧部会

- ① ADS の更なる普及促進を図るため、PR（広報）グループにて HP 及びブログの運用を拡充強化する。また、MR（市場調査）グループでは、ADS 需要分野として期待される各種見本市への調査を継続して行うと共に、IFPEX2017 水圧テーマコーナーの成果をまとめた「ADS 市場マップ」最新版を基に市場への進出を図る。
- ② ADS の国際標準化原案を検討する「水圧システム分科会」活動に協力するとともに、その成果や「ADS 機器技術仕様調査委員会」でまとめた ADS サプライヤーの製造・販売・取扱い機種、性能等詳細仕様の調査結果等を、部会活動に展開する。
- ③ 内外の水圧技術（知的財産権問題も含む）の動向や情報収集等を行うとともに、必要に応じ国際会議への参加を検討する。
- ④ その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

5. 広報・PR 事業

電子メールや HP 等を活用し、会員企業に適切な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等について会員企業はもとよりマスコミ・シンクタンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の「見える化」を一層進める。

- ① 機関誌「フルードパワー」（季刊）を発刊して会員企業はもとより関係機関等にも広く配布すると共に HP に掲載し、広報・PR に努める。特に、産業界の動向に

沿った特集記事や技術講座、JFPA 事業報告の企画をはじめ、「次世代フルードパワー！ 活躍する若手」、「会員企業の窓」、「ミニ知識」等の記事を充実させ、広くフルードパワーの魅力を伝える。また、工業系大学・一般図書館・大学研究室など配布先の拡充も継続する。

- ② 工業高校・高等専門学校・大学等における教育資料、副教材等への活用として、「フルードパワーの世界」デジタルブック版の普及を図る。
- ③ 「月報フルードパワー」を、会員企業はもとより関係機関等に電子配信するとともに HP に掲載し広く広報に努める。
- ④ HP の内容をタイムリーに更新し、会員及び学会・関連関係者への情報開示を積極的に進める。
- ⑤ その他広報・PR 活動に関する事業を推進し、当会が開催する講演会や技術講座、出版物等について積極的な広報・PR 活動を行う。また、「工業会案内」パンフレットを更新する。

6. 中小企業関連事業

中小企業を取り巻く経営環境は、内外経済動向の変化、労働力不足、同一労働同一賃金に代表される働き方改革の実施など、大きく変化してきている。そのため、経営体質の強化は喫緊の課題であり、国の労働政策、中小企業施策等々関連情報の収集とその活用は重要である。これに対応するため、中小企業委員会と中小企業 WG、次世代経営を考える会等の活動を中心として、以下の事業を実施する。

- ① 需要業界や中小企業施策等の動向について経済産業省等と連携して迅速に情報を収集し提供し、必要に応じて視察等を行う。
- ② 中小企業 WG では、委員会の円滑な運営を図るための企画調整を行うとともに、中小企業特有の共通した課題を抽出し、解決策について検討し、これを委員会合同で議論し必要に応じて研修・視察を行う。
- ③ 次世代経営を考える会では、企業経営問題等について研究・意見交換を行う。
- ④ 中小企業を支える福利厚生事業の「共済保険（生命・傷害）制度」の参加企業の拡充を図る。
- ⑤ 消費税転嫁対策特別措置法に基づく対策を引き続き実施する。
- ⑥ その他中小企業の振興に必要な事業を実施する。

7. 振興対策・PL・その他事業

激変する経済環境に的確に対応するため、需要業界の動向や PL 等について情報交換を行う。また、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会等業界関係者との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

1) 振興対策事業

- ① 2021年9月開催予定のIFPEXの成功に向けて、「IFPEX2021 実行委員会」を設置し、事前準備に当たる。
- ② 国内及び世界の市場動向の把握のため、産機・建機部会、シリンダ部会、空気圧本部会を開催し、今後の市場をけん引していくとみられているインドや東南アジアの市場動向に関する情報収集を行うとともに必要に応じ海外見本市の視察や工場視察を実施する。
- ③ 第30回JIMTOF2020(2020年12月7日(月)～12月12日(土)の6日間)の開催に併せ、展示会場内に当会ブースを開設し、会員に対し便宜供与を行う。
- ④ 地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会を適宜開催するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う。
- ⑤ その他振興対策に必要な事業を実施する。

2) PL対策事業(リスク対策事業)

国内CGL(国内PL・作業・業務遂行・施設のリスク:COMPREHENSIVE GENERAL LIABILITY)、及び海外PLからなる団体総合保険制度の健全な運営を図るとともに、企業リスク等に関する情報収集を行う。

- ① 本保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るためPR活動を引き続き実施する。
- ② 国内外地域を対象とした製造業者E&O(経済損失カバー)保険制度については、引き続き関係者と連携して加入を進めていく。
- ③ 国内PL情報や海外PL情報及び様々な企業リスクを迅速に収集し会員企業に提供する。
 - イ) ケーススタディを中心としたPL・企業リスク対策等の講演会を開催する。
 - ロ) リスク、PL関連情報を随時電子配信する。

3) その他事業

- ① 新入社員、若手社員等を対象としたフルードパワー研修事業(技能士受験対策講座、基礎(初級)講座)を継続実施する。更に、制御技術等要望の高い分野についても、その実施に向けてカリキュラム等を作成し検討を進める。
- ② 官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。
- ③ 年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する。
- ④ 西日本支部活動を支援する。
- ⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

Ⅲ. 会員状況

2020年4月1日現在の会員数は、正会員60社、賛助会員61社である。

2020年度収支予算書

2020年4月1日～2021年3月31日

2020.05.21 (金額単位:円)

科 目	2020年度予算	2019年度予算	増 減	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入				
入 会 金 収 入	40,000	40,000	0	
入 会 金 収 入 計	40,000	40,000	0	
② 会費収入				
☆ 正 会 員 会 費 収 入	80,873,250	103,950,000	△ 23,076,750	60社 75% NOK 退会
☆ 賛 助 会 費 収 入	11,505,000	15,340,000	△ 3,835,000	61社 75% NOK、扶桑チェーン入会
協 賛 会 費 収 入	60,800	60,800	0	
☆ 会 費 収 入 計	92,439,050	119,350,800	△ 26,911,750	
③ 事務取扱収入				
P L 保 険 制 度 収 入	2,341,000	2,341,000	0	海外PL・国内PL保険事務
生 命 共 済 制 度 収 入	654,339	654,339	0	生命共済保険・傷害保険事務
国 際 見 本 市 収 入	440,000	0	440,000	JIMTOF
事 務 取 扱 収 入 計	3,435,339	2,995,339	440,000	
④ 補助金等収入				
J I S 原 案 8 月 受 託 収 入	120,000	210,000	△ 90,000	JIS原案2019年8月 申請中
J I S 原 案 12 月 受 託 収 入		390,000	△ 390,000	JIS原案2019年12月 無し
J I S 原 案 4 月 受 託 収 入	180,000	150,000	30,000	JIS原案2020年4月
☆ 水 圧 国 際 標 準 化 受 託 収 入	3,592,000	6,598,122	△ 3,006,122	高効率水圧システムに関する国際標準化
☆ J K A 補 助 金 収 入	2,995,000	5,532,000	△ 2,537,000	フルートパワの国際競争力に資する標準化推進
補 助 金 等 収 入 計	6,887,000	12,880,122	△ 5,993,122	
⑤ 雑収入				
受 取 利 息 収 入	400	400	0	預貯金利息
研 修 等 受 講 料 収 入	1,070,000	2,070,000	△ 1,000,000	油圧調整技能士35名、油圧技術講座初級 100名
雑 収 入	993,000	1,240,000	△ 247,000	JIS著作権料、証明書発行手数料、ホケットブック印税
雑 収 入 計	2,063,400	3,310,400	△ 1,247,000	
事 業 活 動 収 入 計	104,864,789	138,576,661	△ 33,711,872	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
需要対策事業費支出				
役 員 報 酬 支 出	1,116,000	1,116,000	0	
給 料 手 当 支 出	1,925,550	1,888,500	37,050	
福 利 厚 生 費 支 出	506,500	614,700	△ 108,200	
会 議 費 支 出	260,000	245,000	15,000	
賃 借 料 支 出	515,300	479,700	35,600	
電 力 料 (光 熱 費) 支 出	18,195	11,951	6,244	
リ ー ス ・ 保 守 料 支 出	66,821	38,392	28,429	
通 信 運 搬 費 支 出	51,829	59,000	△ 7,171	
印 刷 製 本 費 支 出	440,000	276,000	164,000	需要予測報告書
旅 費 交 通 費 支 出	133,066	135,000	△ 1,934	日機連
委 託 費 支 出	2,060,000	2,060,000	0	需要予測作業委託
雑 支 出	10,000	10,000	0	
需要対策事業費支出計	7,103,261	6,934,243	169,018	
国際交流事業費支出				
役 員 報 酬 支 出	558,000	558,000	0	
給 料 手 当 支 出	3,115,700	4,188,000	△ 1,072,300	
福 利 厚 生 費 支 出	468,700	848,700	△ 380,000	
手 当 ・ 謝 金 支 出	20,000	23,000	△ 3,000	セナ-先生等
会 議 費 支 出	466,800	408,200	58,600	委員会、セナ-、懇親会、視察団・結団式
賃 借 料 支 出	440,000	491,100	△ 51,100	

科 目	2020年度予算	2019年度予算	増 減	
電力料（光熱費）支出	16,759	19,024	△ 2,265	
リース・保守料支出	61,546	61,113	433	
通信運搬費支出	76,522	72,000	4,522	
印刷製本費支出	340,000	120,000	220,000	インジャパン
旅費交通費支出	1,186,000	2,108,000	△ 922,000	ユーザー関連海外見本市、国際会議
諸会費等支出	83,200	81,000	2,200	JETRO
雑 支 出	10,000	10,000	0	
国際交流事業費支出計	6,843,227	8,988,137	△ 2,144,910	
標準化事業費支出				
・ISO対策事業費				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	2,084,750	3,111,575	△ 1,026,825	
福利厚生費支出	217,300	342,000	△ 124,700	
手当・謝金支出	20,046	45,105	△ 25,059	先生等
会議費支出	210,000	228,100	△ 18,100	
賃借料支出	414,000	511,000	△ 97,000	
電力料（光熱費）支出	7,901	14,634	△ 6,733	
リース・保守料支出	29,015	47,010	△ 17,995	
通信運搬費支出	65,392	54,525	10,867	報告書、技術資料配付等
印刷製本費支出	10,000	13,000	△ 3,000	
旅費交通費支出	2,100,000	1,923,930	176,070	国際会議出席事務局、先生等 三菱総研より補助予定
海外派遣補助等支出	120,000	120,000	0	ISO委員派遣（TC131、TC118）海外旅行保険
雑 支 出	10,000	10,000	0	
・ISO対策事業費支出計	5,985,904	7,118,379	△ 1,132,475	
・規格事業費支出				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	2,084,750	2,087,575	△ 2,825	
福利厚生費支出	217,300	239,800	△ 22,500	
手当・謝金支出	549,500	285,105	264,395	先生等
会議費支出	1,044,500	1,427,500	△ 383,000	会場費、茶代、懇親会、ホケットブック
賃借料支出	408,300	511,000	△ 102,700	
電力料（光熱費）支出	7,661	10,488	△ 2,827	
リース・保守料支出	28,135	33,691	△ 5,556	
通信運搬費支出	36,207	58,500	△ 22,293	工業会規格、技術資料配布等
印刷製本費支出	80,000	80,000	0	工業会規格印刷、技術資料、コピー等
旅費交通費支出	176,827	243,900	△ 67,073	
資料購入費支出	30,000	30,000	0	JIS規格等
雑 支 出	10,000	10,000	0	
・規格事業費支出計	5,370,680	5,715,059	△ 344,379	
標準化事業費支出計	11,356,584	12,833,438	△ 1,476,854	
技術調査事業費支出				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	3,228,750	7,505,575	△ 4,276,825	
福利厚生費支出	375,200	966,500	△ 591,300	
手当・謝金支出	100,000	23,000	77,000	ホケットブック
会議費支出	1,520,900	769,000	751,900	会場費、茶代、懇親会、市場調査
賃借料支出	370,500	628,200	△ 257,700	
電力料（光熱費）支出	13,407	35,609	△ 22,202	
リース・保守料支出	15,938	114,391	△ 98,453	
通信運搬費支出	80,938	89,200	△ 8,262	報告書、技術資料配付
印刷製本費支出	33,000	36,000	△ 3,000	
旅費交通費支出	956,536	1,122,000	△ 165,464	特許、若手技術者、部会講師旅費、市場調査
諸会費等支出	240,000	290,000	△ 50,000	学会
雑 支 出	15,000	15,000	0	
技術調査事業費支出	7,647,669	12,291,975	△ 4,644,306	

科 目	2020年度予算	2019年度予算	増 減	
広報・PR事業費支出				
役員報酬支出	1,395,000	1,395,000	0	
給料手当支出	2,779,300	2,748,900	30,400	
福利厚生費支出	402,100	528,900	△ 126,800	
手当・謝金支出	60,138	60,138	0	先生等（編集委員会2回）
会議費支出	235,650	255,650	△ 20,000	委員会合宿、会場費、懇親会
賃借料支出	444,600	581,200	△ 136,600	
電力料（光熱費）支出	14,365	16,585	△ 2,220	
リース・保守料支出	52,754	189,300	△ 136,546	HPメンテナンス130,000
通信運搬費支出	332,876	399,200	△ 66,324	機関誌発送
印刷製本費支出	3,300,000	3,623,000	△ 323,000	機関誌、ポスター
原稿料支出	1,120,000	1,120,000	0	機関誌原稿料/4回、IFPEX特集
旅費交通費支出	451,000	500,200	△ 49,200	研究室訪問4回、委員会地方開催
資料購入費支出	435,000	435,000	0	水圧ブログ、HP水圧メニュー改善
雑支	120,000	120,000	0	研究室訪問、著作権関連弁護士相談料
広報・PR事業費支出計	11,142,783	11,973,073	△ 830,290	
中小企業関連事業費支出				
役員報酬支出	1,116,000	1,116,000	0	
給料手当支出	2,195,150	1,978,500	216,650	
福利厚生費支出	391,500	534,800	△ 143,300	
会議費支出	302,440	263,000	39,440	
賃借料支出	418,400	404,800	13,600	
電力料（光熱費）支出	14,125	12,439	1,686	
リース・保守料支出	51,875	39,959	11,916	
通信運搬費支出	33,153	20,000	13,153	生命共済募集案内
印刷製本費支出	54,200	54,200	0	研修報告書 セミナー資料
旅費交通費支出	397,000	388,300	8,700	秋の国内研修
雑支	5,000	5,000	0	
中小企業関連事業費支出	4,978,843	4,816,998	161,845	
振興・PL対策事業費支出				
・振興対策事業費				
役員報酬支出	1,116,000	1,116,000	0	
給料手当支出	2,140,750	2,210,500	△ 69,750	
福利厚生費支出	536,500	646,400	△ 109,900	
手当・謝金支出	50,000	0	50,000	JIMTOF
会議費支出	959,000	914,000	45,000	部会
賃借料支出	538,100	427,900	110,200	
電力料（光熱費）支出	19,153	13,415	5,738	
リース・保守料支出	70,338	43,093	27,245	
通信運搬費支出	121,768	98,600	23,168	
印刷製本費支出	8,000	11,000	△ 3,000	
旅費交通費支出	893,000	801,000	92,000	部会、海外事情調査、関連協他
資料購入費等支出	150,000	0	150,000	JIMTOF
諸会費等支出	170,000	1,740,000	△ 1,570,000	工作機械関連協議会、他
支部・部会運営補助支出	1,326,000	1,326,000	0	
雑支	19,000	15,000	4,000	
・振興対策事業費支出	8,117,609	9,362,908	△ 1,245,299	
・PL対策事業費				
役員報酬支出	279,000	279,000	0	
給料手当支出	202,100	237,000	△ 34,900	
福利厚生費支出	54,600	88,600	△ 34,000	
会議費支出	37,000	37,000	0	PLセミナー
賃借料支出	66,200	72,700	△ 6,500	
電力料（光熱費）支出	1,915	1,951	△ 36	
リース・保守料支出	7,034	6,268	766	

科 目	2020年度予算	2019年度予算	増 減	
通信運搬費支出	12,979	12,000	979	
印刷製本費支出	2,000	2,000	0	機材-資料
旅費交通費支出	25,000	25,500	△ 500	
・ P L 対策事業費支出	687,828	762,019	△ 74,191	
振興・ P L 対策事業費支出計	8,805,437	10,124,927	△ 1,319,490	
受託・補助事業費支出				
J I S 原案8月受託事業費支出	120,000	210,000	△ 90,000	JIS原案2019年8月
J I S 原案12月受託事業費支出	0	390,000	△ 390,000	JIS原案2019年12月 無し
J I S 原案4月受託事業費支出	180,000	150,000	30,000	JIS原案2020年4月
☆ 水圧国際標準化受託事業支出	3,592,000	6,598,122	△ 3,006,122	高効率水圧システムに関する国際標準化
☆ ・受託事業費支出小計	3,892,000	7,348,122	△ 3,456,122	
☆ J K A 補助事業支出	3,943,000	7,378,000	△ 3,435,000	フルトパラーの国際競争力に資する標準化推進
☆ ・補助事業費支出小計	3,943,000	7,378,000	△ 3,435,000	
☆ 受託・補助事業費支出計	7,835,000	14,726,122	△ 6,891,122	
その他事業費支出				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	3,173,200	2,483,050	690,150	
福利厚生費支出	460,900	575,300	△ 114,400	
手当・謝金支出	160,000	240,000	△ 80,000	講師謝礼
会議費支出	5,283,000	4,970,500	312,500	総会懇親会、西日本支部総会、年始会、技術講座
賃借料支出	444,600	547,600	△ 103,000	
電力料（光熱費）支出	16,519	12,195	4,324	
リース・保守料支出	60,667	39,175	21,492	
通信運搬費支出	158,974	171,100	△ 12,126	技能講座
印刷製本費支出	133,000	136,700	△ 3,700	懇親会案内 技能講座資料
消耗品費支出	90,000	132,000	△ 42,000	技能講座
旅費交通費支出	569,000	411,000	158,000	西日本支部総会、技能講座
資料購入費等支出	76,000	214,000	△ 138,000	過去問題集、赤本
支部・部会運営補助支出	200,000	200,000	0	西日本支部補助
その他事業費支出	11,523,360	10,830,120	693,240	
事業費支出計	77,236,164	93,519,033	△ 16,282,869	
② 管理費支出				
役員報酬支出	5,780,000	5,680,000	100,000	
給料手当支出	22,809,500	18,527,325	4,282,175	
福利厚生費支出	3,054,500	3,335,500	△ 281,000	
退職給付支出	0	0	0	
会議費支出	2,200,000	2,130,000	70,000	総会
賃借料支出	3,583,600	3,029,500	554,100	
電力料（光熱費）支出	109,410	95,609	13,801	
リース・保守料支出	401,808	307,132	94,676	
通信運搬費支出	458,644	458,644	0	メール、電話、FAX、切手、宅急便
印刷製本費支出	872,900	838,000	34,900	会員名簿、封筒印刷、名刺
旅費交通費支出	1,954,000	1,888,914	65,086	日機連海外業務
資料購入費支出	294,840	243,000	51,840	経済産業ハットブック、新聞等購読
消耗品費支出	200,000	250,000	△ 50,000	事務用品、印刷機等
諸会費支出	1,100,000	1,052,000	48,000	日機連、機振協、規格協会他
委託費支出	1,354,000	1,307,600	46,400	税理士、労働保険事務、清掃業務
渉外費支出	1,220,000	1,220,000	0	
広報宣伝費支出	171,000	131,000	40,000	名刺広告、日本産業広告賞
手数料支出	483,000	440,000	43,000	FAX通知、振込手数料、小切手帳等
租税公課支出	780,000	960,000	△ 180,000	印紙、都民税、法人税、消費税
雑支出	600,000	690,000	△ 90,000	登記費用、備品購入、災害対応備蓄
管理費支出計	47,427,202	42,584,224	4,842,978	
事業活動支出計	124,663,366	136,103,257	△ 11,439,891	
事業活動収支差額	△ 19,798,577	2,473,404	△ 22,271,981	

科 目	2020年度予算	2019年度予算	増 減	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	2,772,000	3,179,000	△ 407,000	
特定資産取得支出計	2,772,000	3,179,000	△ 407,000	
② 固定資産取得支出計	0	0	0	
投資活動支出計	2,772,000	3,179,000	△ 407,000	
投資活動収支差額	△ 2,772,000	△ 3,179,000	407,000	
Ⅲ 予備費支出				
当期収支差額	△ 22,570,577	△ 705,596	△ 21,864,981	
前期繰越収支差額	107,654,379	89,941,239	17,713,140	
次期繰越収支差額	85,083,802	89,235,643	△ 4,151,841	

注記.

1. JIS原案8月扱い受託事業 : 日本規格協会 - 受取収入予算 : 120,000円
* J I S B 2 3 5 6 - 2 : 「油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-エラストマシール又はエッジシールによるメートルねじポート及び継手端部-第2部:エラストマシール(タイプE)継手端部」(改正)の原案及び解説の作成
2. J I S原案4月扱い受託事業 : 日本規格協会 - 受取収入予算 : 180,000円
* J I S B 9 9 3 3 「油圧-作動油-個体微粒子に関する汚染度のコード表示」(改正)の原案及び開設の作成
3. 小型自動車等機械工業振興事業に関する補助金 : JKA - 受取補助金 : 2,995,000円
* 2020年度フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進補助事業
4. 2020年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業受託費 : 野村総合研究所 - 受取収入予算 : 3,592,000円
* 省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野)